

5月26日：外国人投資家が買い越しに転じ、VN指数は高値引け

銀行株の上昇を背景にVN指数は最高値を更新し、ベトナム市場は高値圏で推移した。また前日と変わって外国人投資家は約1,800億ドンの買い越しに転じた。

ホーチミン市場では、VN指数は0.62%（8.12ポイント）高の1,316.7ポイントで引けた。値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回ったが、同指数は上昇した。

出来高は高水準で、売買高は7億1,300万株を超え、売買代金は約21兆7,000億ドン（11億7,000万米ドル以上）となった。

銀行、素材セクターの一部の大型株が主に指数の上昇を牽引した。VN30指数は0.77%高の1,455.11ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、16銘柄が上昇、12銘柄が下落した。2銘柄は変わらずだった。

銀行株は引き続きマーケットの上昇に寄与し、軍隊商業銀行（MBB）+4.75%、テクコムバンク（TCB）+2.33%、VPバンク（VPB）+1.2%、ベトナム国際銀行（VIB）+3.28%、シーバンク（SSB）+6.74%といった大手銀行株は1%を超える上昇となった。

ホアファットグループ（HPG）、ビナミルク（VNM）、サイゴンビール・アルコール飲料（SAB）、ベトナムゴム工業グループ（GVR）といった素材セクターもマーケットの上昇を支えた。

それでも、不動産、公益、輸送、小売セクターといった一部のセクターは再び売られ、同指数上昇の重しとなった。

同指数の下落率トップは、ノバランド不動産投資（NVL）で1.48%安。ビンググループ（VIC）、ペトロベトナムガス（GAS）、ペトロリメックス（PLX）はそれに続いた。これらの下落幅は0.49～1.6%だった。

「VN指数は今後新たな上値を目指す前に1,285ポイント付近の下値を試す可能性がある」（バオベト証券のアナリスト）

「投資家は株式への投資比率をポートフォリオの50～60%に高めるのが良い。投資家は今後マーケットが動く時、買い増しを検討するかもしれない」（同証券会社）

ハノイ市場では大型株が牽引し、HNX指数は1.08%高の304.86ポイントと高値引けとなった。HNX30指数は0.51%上昇した。

同市場では、国内投資家は3兆1,000億ドン以上（約1億3,430万米ドル）を買い入れ、売買高は1億3,880万株となった。

一方で外国人投資家は買い越しに転じ、買い越し金額は計1,799億9,000万ドン（約780万米ドル）に上った。そのうち、ホーチミン市場では1,144億6,000万ドン（約500万米ドル）を、ハノイ市場では360億7,000万ドン（156万米ドル）を買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。